

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第31週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

・対象期間

令和5年 第31週分 7月31日～8月6日（8月9日時点速報値）

・症例定義

感染症発生動向調査により、富山県内のインフルエンザ/COVID-19定点医療機関（小児科29定点、内科19定点）から上記期間にCOVID-19と診断された症例。

→定点医療機関新規報告数：571人、定点医療機関当たり11.90人、新規患者推計値：2,696人

・患者推計方法

2022年第40週～2023年第18週の富山県内における全数報告数に対する定点医療機関の報告数の割合（定点割合）から、患者推計値を算出。

【計算式】

(新規患者推計値, 人) = (定点医療機関新規報告数, 人) / (定点割合, %)

(定点割合, %) = [(期間中の定点医療機関新規報告数, 人) / (期間中の全数報告数, 人)] × 100
= 21.18%

2023年5月8日より、感染症法上の取り扱いが「二類相当」全数把握から「五類」定点把握に移行した。これに伴い、2022年第40週に遡り週別新規患者推計値を算出し、発生動向を継続的に評価した。

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

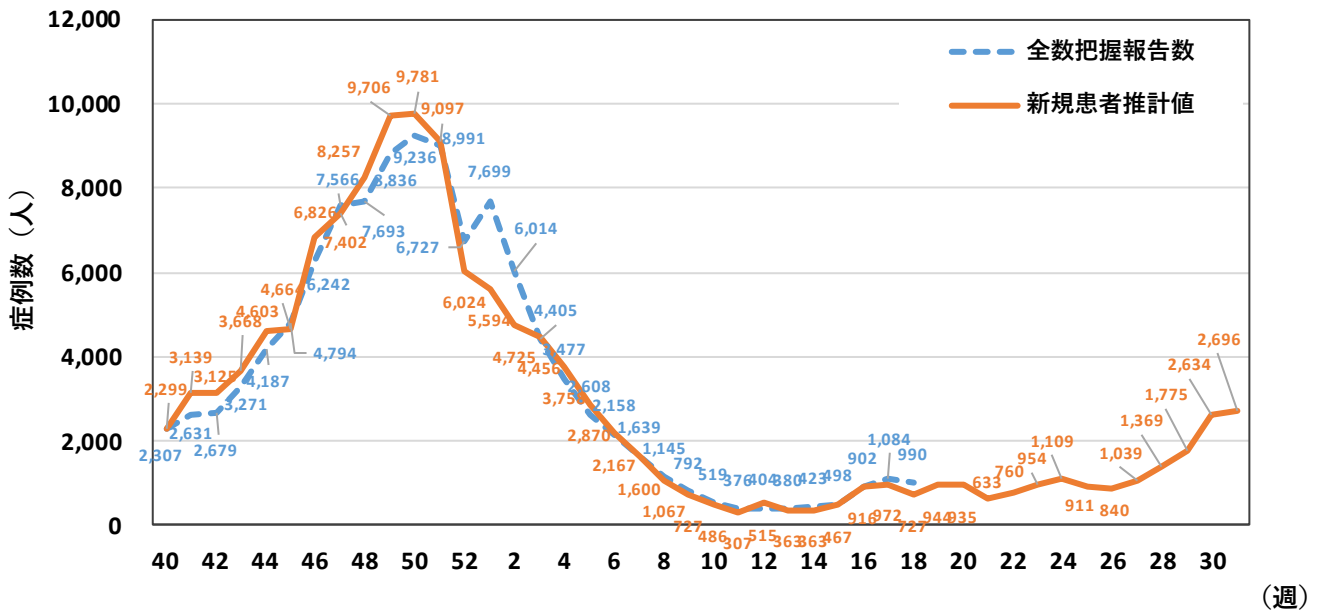


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

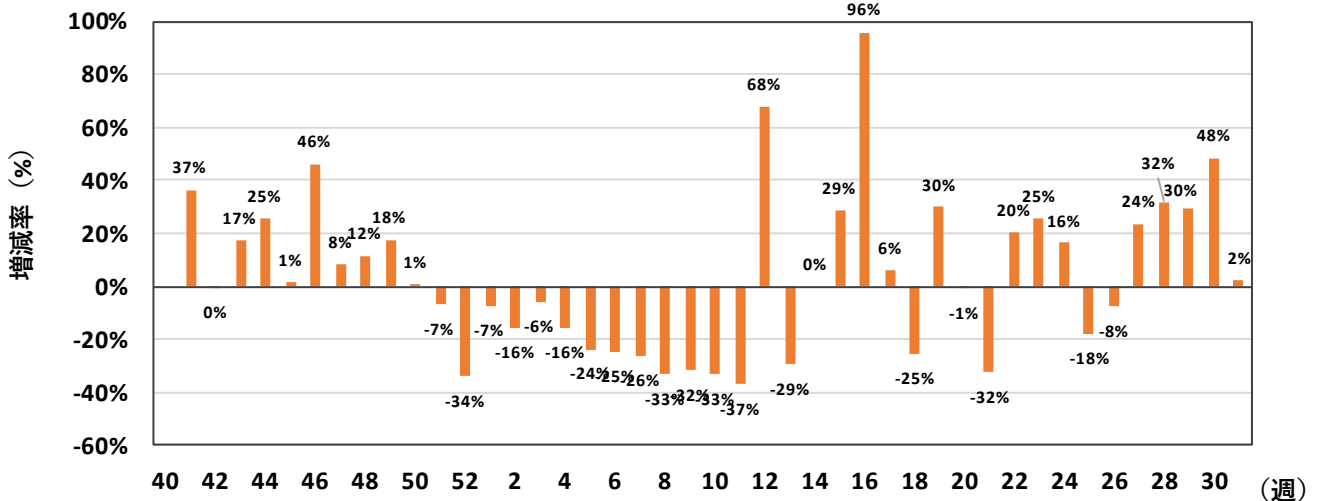


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第31週）

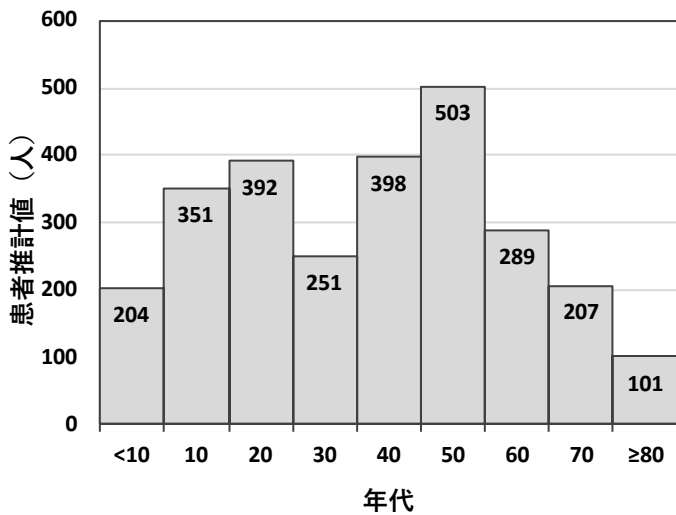


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第31週）

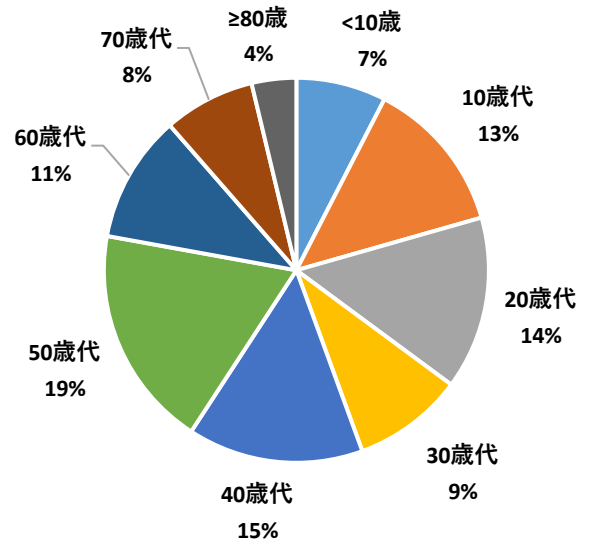


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移（富山県）

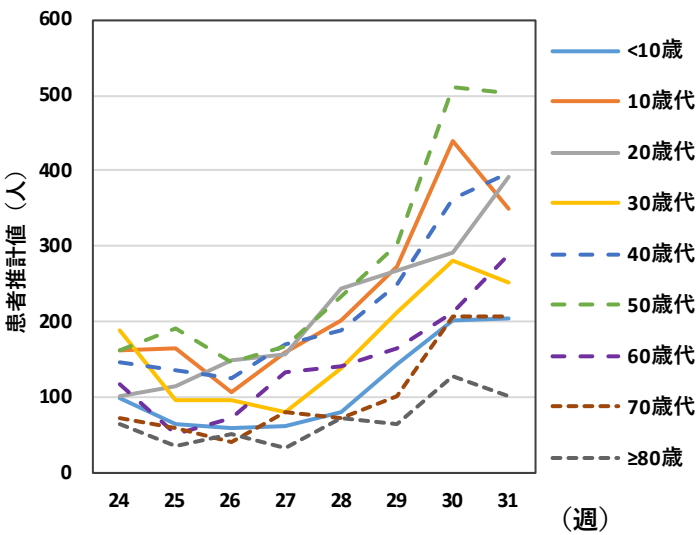
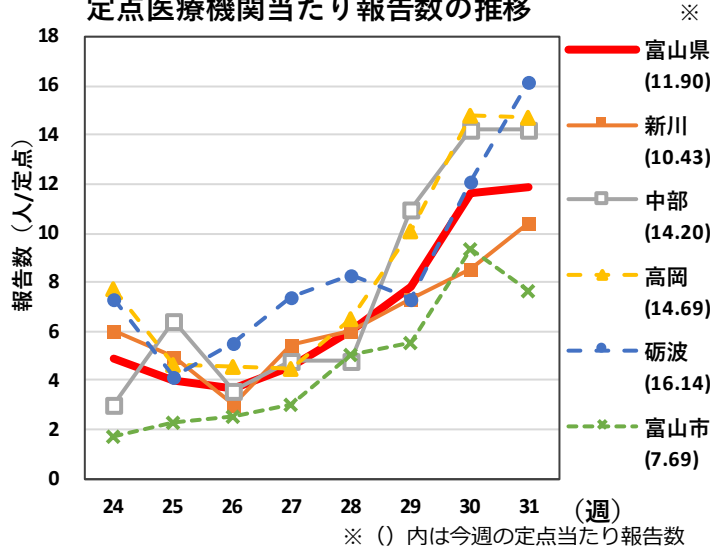


図6. 厚生センター・保健所管内別
定点医療機関当たり報告数の推移



第31週（7/31~8/6）時点での所見と評価

- 第31週の定点医療機関当たり報告数は11.90人、新規患者推計値は2,696人であった。前週推計値（第30週、2,634人）から2%増加した。第27週以降、5週連続で増加した。（図1、2）
- 第31週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。50歳代が最も多く19%を占め、次いで40歳代（15%）、20歳代（14%）の順に多くを占めた。60歳以上の割合は23%で先週（21%）よりやや増加した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。20歳代、40歳代、60歳代で引き続き増加した。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で11.90人/定点であり、先週（11.63）よりやや増加した。砺波、新川管内では増加が継続し、富山市管内は減少に転じた。
- 全国の定点あたりの報告数は増加傾向である。県内でも増加傾向であり、先週からわずかに増加した。夏季休暇に加え、今後お盆による帰省等、人流の増加や普段会わない人との接触機会の増加から、更なる感染拡大が懸念される。引き続き今後の発生動向を注視する必要がある。